

2025 年 12 月青森県東方沖地震による被害調査報告(速報)

目次

目次	1
1. 調査概要	2
1.1 調査目的.....	2
1.2 調査体制.....	2
2. 調査行程と調査地域	3
3. 調査結果	4
4. 謝辞.....	20

1. 調査概要

1.1 調査目的

2025年12月8日23時15分頃に発生した青森県東方沖地震に伴う被害が生じた八戸市を対象に、建築物被害状況を調査した。

1.2 調査体制

調査は以下の体制で実施した。

- ・壁谷澤寿一（東京都立大学）
- ・秋山美紅（東京都立大学大学院）
- ・岡駿太郎（東京都立大学大学院）
- ・金丸舞以（東京都立大学大学院）
- ・久保田直人（東京都立大学大学院）

2. 調査行程と調査地域

調査行程と調査地域を以下に示す。

(1) 2025年12月13日

- 09:30 八戸駅集合、レンタカーにて出発
- 10:00 八戸市内の調査
- 10:10 三八城公園にてK-NETの確認と調査
- 11:00 八戸市六日町周辺の調査
- 13:00 青森県立高校の調査
- 15:00 NTT東日本八戸ビルの調査
- 15:30 八戸市六日町周辺の調査
- 18:00 調査終了し八戸駅方面へ出発
- 18:30 八戸駅解散

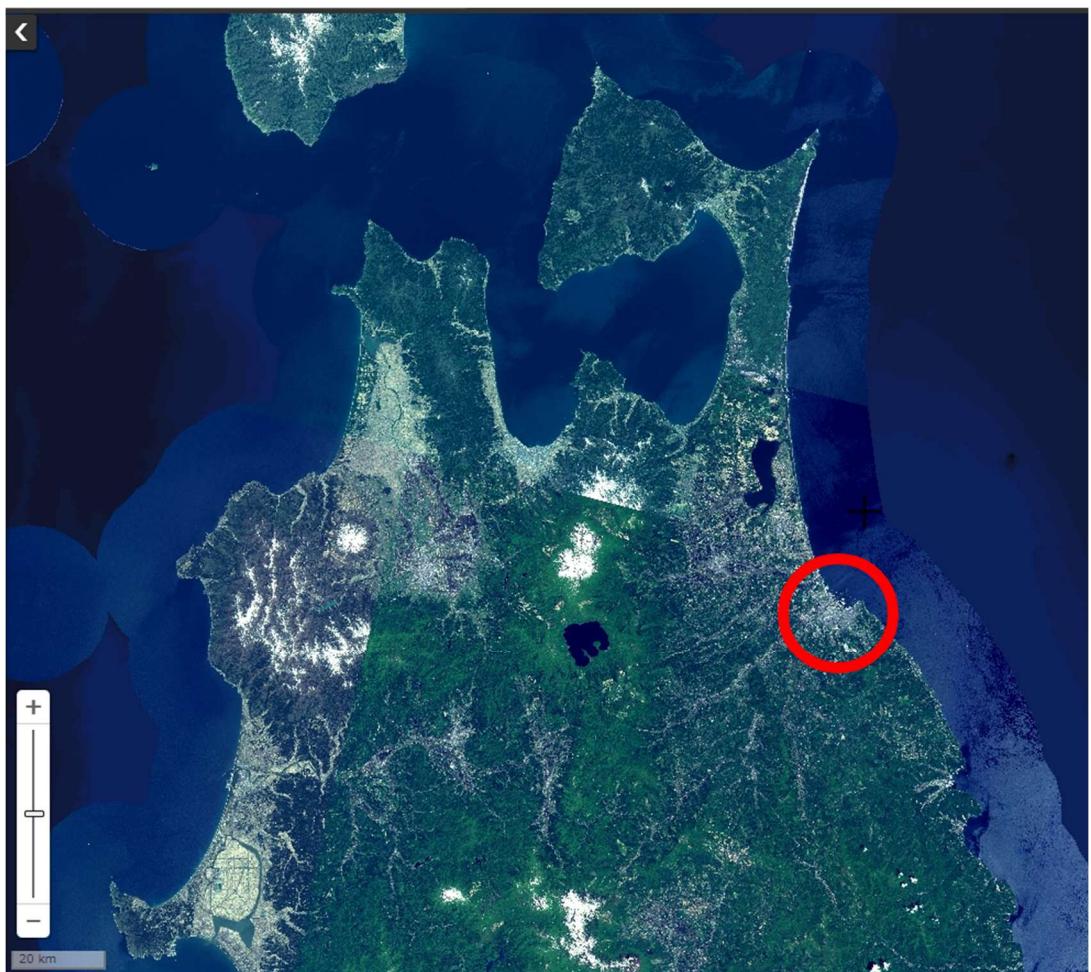


図1 調査地域

3. 調査結果

以下に各調査地域の調査ルートおよび調査結果を示す。

なお、各調査表の右上には緯度経度を示している。緯度経度は調査後に正確な位置を確認した結果である。



図 3.1 調査ルート

■調査日：2025/12/13

■40° 32'55.38"N 141° 30'25.38"E

■調査対象：八戸港フェリーターミナル

■調査結果：

- ・護岸に近い港湾部分の一部に液状化現象が見られた
- ・

■写真



液状化箇所全景



液状化箇所



噴砂箇所①



噴砂箇所②

■調査日：2025/12/13

■ : 40° 30'51.60"N 141° 29'17.50"E

■調査対象：三八城公園 K-NET 八戸

■調査結果：

- ・背面側はやや傾斜したがけ地になっている
- ・地面からの高さ約 74cm の盛土部分に設置されている

■写真



■調査日：2025/12/13

■ : 40° 30'51.60"N 141° 29'17.50"E

■調査対象：三八城公園 ブロック塀

■調査結果：

- ・ $40 \times 20 \times 15(\text{cm})$ (縦×横×厚さ)ブロック 8段積層のうち、横 17 ブロック × 6 段が倒壊
- ・ 断面中央部分に 9Φの鉄筋 1本(800mm 間隔)を使用している

■写真



崩壊したブロック塀全体



崩壊したブロック端部



倒壊した積層ブロック部分



積層高さ寸法



ブロック脚部の鉄筋



ブロック断面

■調査日：2025/12/13

■ : 40° 30'51.60"N 141° 29'17.50"E

■調査対象：三八城公園

■調査結果：

- ・自重式の灯籠が基部で倒壊している
- ・

■写真



倒壊した灯籠①

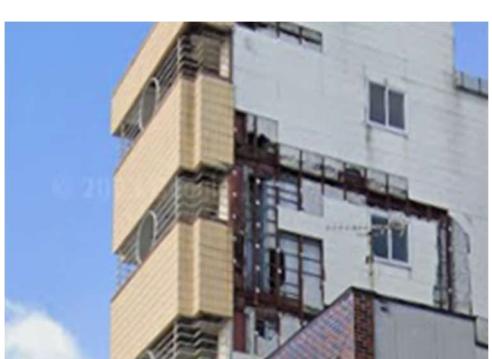


倒壊した灯籠②



鉄筋はなく自重式となっている

■調査日：2025/12/13	■：
■調査対象：八戸ショッピングセンター	
■調査結果：	
・吹抜けの 2 階内壁部分が脱落している。調査時には補修工事中であり、内部の調査はできなかった	
■写真	
	建物外観
	内壁崩落部(ガラス扉越しに撮影)

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象：S 造アパート 6 階建	
■調査結果：	
・鉄骨造外壁パネルが脱落したとみられるが、今回の地震以前に外壁パネルに損傷や劣化が生じていた可能性もある	
■写真	
	外壁パネルの脱落
	2023 年 10 月現在 (Google map)

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：RC 造商業施設 6 階建

■調査結果：

- ・外壁パネル脱落を懸念してか養生ネットが外壁に貼られていた
- ・ガラス戸のサッシが損傷していた
- ・柱が損傷したためか、シートで保護されていた

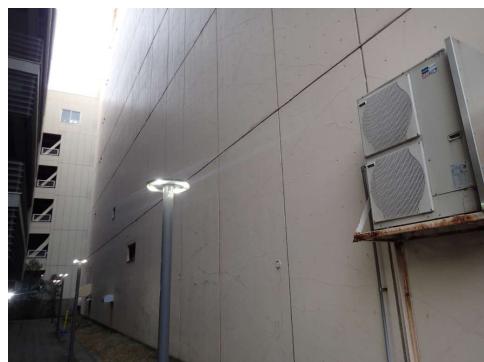
■写真



建物全景



柱脚の損傷



妻側の耐震壁（ひび割れ補修跡あり）



ガラス戸のサッシ損傷

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：RC 造商業施設 4 階建

■調査結果：

- ・エキスパンションジョイントが損傷、外壁パネルにもひび割れおよび剥落がみられた
- ・外壁にせん断ひび割れおよび柱に曲げひび割れがみられた
- ・1 階 RC 造柱脚に曲げひび割れおよび剥落がみられた
- ・2 階以上の柱にも縦に発生するひび割れがみられた(今回の地震との関連は不明)
- ・木造柱に曲げ破壊がみられ、基礎のコンクリートにもひび割れがみられた

■写真



エキスパンション部の損傷



外壁のせん断ひび割れと柱の曲げひび割れ



柱脚の仕上げ材の剥落



2階上部柱の縦ひび割れ



木造柱の曲げ破壊



基礎コンクリートのひび割れ

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：S 造事務所 4 階建

■調査結果：

- ・外壁パネルの開口部にそって 1 構面が全面的にひび割れが生じていた
- ・階段と地面との接続部分のコンクリートが破壊していた
- ・基礎にひび割れがみられた

■写真



外壁パネルのひび割れ



階段のコンクリートの損傷



基礎のひび割れ



建物隅角部の損傷

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象：RC 造商業施設 6 階建	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> ・出窓部分に接続する垂れ壁付きはりの垂れ壁部分が剥落し鉄筋がむき出しになっていた ・出窓の窓ガラスが損傷し、シートで保護されていた ・柱脚に曲げひび割れが確認された ・建物外構のタイルが損傷していた 	
■写真	
	垂れ壁かぶり剥落、鉄筋の露出
	窓ガラスの損傷
	柱脚の曲げひび割れ
	外構タイルの損傷

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：集合住宅 8 階建、下部は RC、上部は鉄骨と思われる

■調査結果：

- ・最上階塔屋部分の東面および西面の外壁パネルが崩落し、内部が露わになっている

■写真



塔屋部分の東面外壁パネルの崩落



塔屋部分の西面外壁の崩落



建物全景



平成 5 年 4 月竣工

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象：RC造商業施設 5階建	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> 垂れ壁や有開口付き壁にひび割れがみられた エレベータが停止していた 	
■写真	
	垂れ壁のひび割れ
	エレベータの停止

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象：S造商業施設 5階建	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> 全体的に非構造壁と思われる外壁に目立ったひび割れがみられた 	
■写真	
	壁のひび割れ①
	壁のひび割れ②

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象：S 造倉庫	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> 前面の鉄骨造柱が傾斜している 	
■写真	
	
柱が向かって左側に傾斜している	建物全景

■調査日：2025/12/13	■
■調査対象： RC 造商業施設 4 階建	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> EV 周囲の垂れ壁および柱脚にひび割れがみられた 	
■写真	
柱脚のひび割れ	垂れ壁のひび割れ

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：青森県立高校

■調査結果

- ・地盤の高い部分の校舎では垂れ壁付き梁にせん断ひび割れ
- ・地盤の低い部分の校舎では基礎梁下部を高さ 70cm の東柱で支え、建物内は無柱で、梁間スパン 9450mm。短柱になって壁方向にせん断破壊。破壊箇所は北・南構面の合計 6 箇所。
- ・柱は 650×600mm と桁行方向に長い長方形断面。主筋は 4-D19 と 6-D22 の異形鉄筋、帯筋は D10 の異形鉄筋、帯筋間隔は 200mm
- ・桁行方向に長さ 500mm の両側そで壁が取りつき、開口補強筋は D13 の異形鉄筋が用いられている
- ・壁厚は 170mm、かぶり含め 200mm
- ・壁筋はΦ9 の丸鋼、間隔は縦横共に 200 ピッチ

■写真



普通教室棟（手前：地盤高、奥：地盤低）



地盤高い部分の壁梁の曲げひび割れ



残存した柱のせん断ひび割れ



残存した袖壁付き柱の面外ひび割れ



脚部東柱のせん断破壊



周辺地面のひび割れ

■調査日：2025/12/13

■

■調査対象：青森県立高校

■調査結果：

- ・建物基礎内部では耐震壁基礎梁下にはそで壁等の補剛部材は取りついてない
- ・建物内部は化学教室となっており、実験器具の転倒と壁のPS周辺にせん断ひび割れ
- ・エキスパンションジョイントと階段室周りや方立壁にもひび割れ損傷がみられる
- ・周辺では墓石が転倒していた

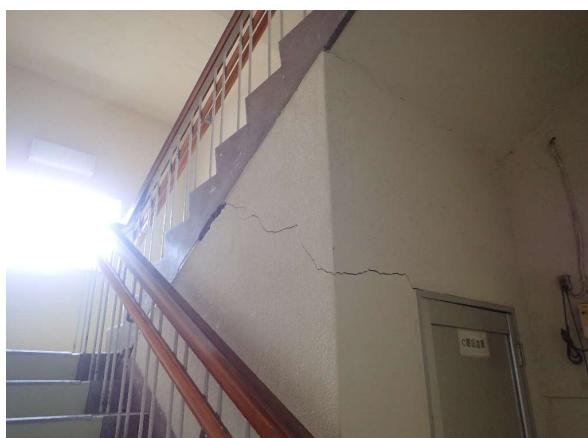
■写真



耐震壁方向の基礎梁下



主筋の座屈とせん断補強筋の破断



階段室周りのひび割れ損傷



PS周辺にせん断ひび割れ



エキスパンションジョイント



墓石の転倒

■調査日：2025/12/13	■ : 40° 30'51.46"N 141° 29'55.83"E
■調査対象：NTT 東日本八戸ビル 鉄塔	
■調査結果：	
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨柱の損傷(塗装部分の剥落)が見られる ・マスコミ等で報道されているボルトの落下は地上からは確認できなかった 	
■写真	
	
鉄塔全体	破断部分

4. 謝辞

調査にご協力いただいた青森県八戸市の住民の皆様にはヒアリングや建物調査等、被災直後に関わらず真摯にご対応いただきました。調査団一同感謝申し上げます。今回の青森県東方沖地震での青森県八戸市的一日も早いご復興を衷心より祈念申し上げます。